

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞ登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています（※ KEK の共同利用者支援システムでユーザー登録をされた皆様には、PF メルマガが配信され、そちらにも PF ニュース発行のお知らせが載りますので、その方はお知らせメールの登録は必要ありません）。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞ投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光実験施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202
E-mail : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <http://pfwww.kek.jp/publications/pfnews/>

編集後記

私にとっての PF ニュースの魅力は、冊子体として PF 内のどこでも目にすることができること、にある。そうであることによって、一定の、いやかなりの読者を獲得している。ひよっとすると PF ニュースの実質読者数（ユーザー数×80%??）は、日本語で発行されたほとんどの学会誌のそれよりも多いかもしれない。しかも、専門分野以外の記事に触れる機会も多いので、執筆者の立場から見ても、他（多）分野への宣伝効果を期待できる。読者の興味でのみ閲覧される web 上の媒体では、このような効果は期待できない。近年、学会誌にもペーパーレス化の波が押し寄せている。たしかにお金をかけて印刷・郵送された学会誌のほとんどが一瞥されただけでごみ箱へ直行、という状況では電子化もしたくなる。その点、PF ニュースは次のユーザーがいるので捨てられることはない。費用対効果も抜群なのだ。重要な点は、このようなすぐには目に見えない読者数や宣伝効果が正しく評価されることであろう。約 2 年前に編集委員を仰せつかってから、編集後記には、ぜひともこのことを書こうと思っていたが、なんと前号（vol. 37 No.3）の編集後記でも M.T. さんが同じ趣旨のことを書いていた。どうやら紙媒体に対する上記の想いは、私だけの偏見というわけでもなさそうだ。（K.K.）

* 2019 年度 PF ニュース編集委員 *

委員長	中尾 裕則	物質構造科学研究所			
副委員長	小松 一生	東京大学理学系研究科			
委員	荒川 孝俊	東京大学大学院農学生命科学研究科			
	石毛 亮平	東京工業大学物質理工学院	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	
	加藤 龍一	物質構造科学研究所	坂野 昌人	東京大学大学院工学系研究科	
	島田 美帆	加速器研究施設	杉山 弘	物質構造科学研究所	
	高木 秀彰	物質構造科学研究所	武市 泰男	物質構造科学研究所	
	田中 雅人	東京大学大学院理学研究科	南部 英	(株) 日立製作所基礎研究センタ	
	若林 大佑	物質構造科学研究所	和田 健	量子科学技術研究開発機構	
	和田 敬広	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科			
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所			